

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

Jazzy-Waltzing!

KOHEI UENO

Saxophone



サクソフォンの可能性を
追求する“革命児”

首席客演指揮者

KAZUKI YAMADA

Conductor

ヤマカズ、狂騒のフィナーレ!

モンテカルロ・フィルの芸術監督を務め、
国際的に華々しく活躍する俊英

GLAZUNOV: Concerto Waltz No. 1 in D major, op. 47
グlazノフ:演奏会用ワルツ第1番 二長調 作品47

HAYDN: Symphony No. 104 in D major, "London"
ハイドン:交響曲第104番 二長調「ロンドン」

KAPUSTIN: Concerto for Alto Saxophone and Orchestra, op. 50
カプースチン:サクソフォン協奏曲 作品50

RAVEL: La Valse
ラヴェル:ラ・ヴァルス

2/3 Sat. 14:00
YNSO Saturday
Matinee Series
No. 264
読売日本交響楽団 第264回 土曜マチネーシリーズ
S¥8,000 A¥6,000 B¥5,000 C¥4,500

2/4 Sun. 14:00
YNSO Sunday
Matinee Series
No. 264
読売日本交響楽団 第264回 日曜マチネーシリーズ
S¥8,000 A¥6,000 B¥5,000 C¥4,500

Tokyo Met. Theatre
東京芸術劇場

主催:読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
共催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

首席客演指揮者

ヤマカズ、《マチネー》最後の進撃 “革命児”上野耕平がカプースチンの協奏曲を吹く！

数々の名演奏を刻んできた山田和樹が、2024年3月末で読響の首席客演指揮者を退任する。同ポストとして指揮する最後の《土曜・日曜マチネーシリーズ》は、グラズノフとラヴェルの対照的なワルツを両梓に、ハイドンの古典の傑作交響曲とカプースチンのモダンな協奏曲を挟む。最後まで攻める姿勢を崩さない“ヤマカズ節全開”の組み合わせだ。

幕開けを飾るのは、グラズノフの「演奏会用ワルツ第1番」。ハーブの伴奏に乗った甘美なメロディが、絢爛豪華な舞踏会を描き出す。続く「ロンドン」交響曲は、“交響曲の父”ハイドンが新天地イギリスでの成功を求めて書き上げた意欲作。作曲家最後の交響曲だが、快活で新たな始まりを予感させるエネルギーに満ちている。山田の歯切れの良いタクトが弦楽器のリズムを際立たせ、躍動感あふれる演奏を繰り広げるだろう。

気鋭のサクソフォン奏者・上野耕平を迎えて披露するのは、カプースチンの協奏曲。この楽器のための協奏曲自体珍しいが、管弦楽もギター、ベース、ドラムスなど“異色”の楽器を交えてジャズやロックの要素満載の音楽を展開する。ジャンルの垣根を越えて活躍する上野の独奏は、即興演奏のごとく目まぐるしいパッセージを吹き荒らし、超絶技巧を冴え渡らせるだろう。彼と共に演を重ねる山田も「一音を聴いただけで、ただ者ではないと思った!」とその才能を絶賛している。今回も自在なリズムでスイングを効かせ、推進力のあ

るグルーヴを生み出して会場を熱狂へと誘う。
プログラムの最後はラヴェルの「ラ・ヴァルス」で締めくくる。“ザ・ワルツ”の煌びやかなタイトルと裏腹に、第1次世界大戦後の作曲家の喪失感が影を落としている。幻想的なウィンナ・ワルツは、陶酔から破滅へ誘う危うい空気をたっぷりと漂わせながら徐々に崩壊へと向かい、大編成の管弦楽は入り乱れ金管楽器が咆哮する狂騒のフィナーレへと突き進む。山田は、ときに既成の価値を壊すことも厭わず常に新しい可能性を追求してきたが、破格のワルツからどのような世界を創り上げるだろうか。山田の豪快なスケールで描く劇的なサウンドをどうぞお聴き逃しなく。



山田和樹(首席客演指揮者)

生命力あふれる音楽で、国際的に活躍する日本のエース。2018年4月から読響首席客演指揮者を務め、今年3月に同ポストを退任する。東京芸術大学指揮科卒業。09年ブザンソン国際コンクール優勝。BBC響を指揮して欧州デビュー。パリ管、ベルリン放送響、フランクフルト放送響、ドレスデン・フィル、チェコ・フィルなどへ客演。オペラでは、モンテカルロ歌劇場などで活躍。23年夏にはバーミンガム市響とBBCプロムスに再登場したほか、ポストン響を指揮してタンゲルウッド音楽祭へのデビューを成功させた。24年5月にはシカゴ響にデビューする。スイス・ロマン管首席客演指揮者などを経て、現在モンテカルロ・フィル芸術監督兼音楽監督、バーミンガム市響首席指揮者兼アーティストックアドバイザー、東京混声合唱団音楽監督兼理事長。

上野耕平(サクソフォン)

才気みなぎるサクソフォン界の革命児。東京芸術大学卒業。日本管打楽器コンクールに史上最年少で優勝、アドルフ・サックス国際コンクール第2位など、国内外の楽団と共演を重ねている。2020年1月には、下野竜也指揮の読響とジョン・アダムのサクソフォン協奏曲で絶賛された。23年にアルバム「Eau Rouge」をリリース。NHK-FM「x(かける)クラシック」司会のほか、テレビ「題名のない音楽会」「情熱大陸」などにも出演。「ザ・レヴ・サクソフォン・クワルテット」メンバー、吹奏楽「ばんだウィンドオーケストラ」コンサートマスターとしても活躍中。鉄道と車もこよなく愛し、深く追求し続けている。



東京芸術劇場コンサートホール

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111
●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分(駅地下通路2b出口と直結しています)

読売日本交響楽団 第264回 土曜マチネーシリーズ

2024年2月3日(土)14時開演
S¥8,000 A¥6,000 B¥5,000 C¥4,500

読売日本交響楽団 第264回 日曜マチネーシリーズ

2024年2月4日(日)14時開演
S¥8,000 A¥6,000 B¥5,000 C¥4,500

読響チケットセンター 0570-00-4390
※10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <https://yomikyo.pia.jp/>
※座席選択可/チケット郵送料無料

読響ホームページ <https://yomikyo.or.jp/>

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

プレイガイド

※10時-18時・年中無休

